リンクの指定

- Lesson l リンクとは
- Lesson 2 相対パスと絶対パス



リンクとは

学習のボイント

- ●リンクとはハイパーリンクの略語です。
- ●リンクを使用することで、他のHTML文書へ移動することができ ます。
- id属性を使用することで、ページ内の任意の場所に移動することができます。
- ターゲット属性を指定することで、リンク先のページをどのウィンドウに表示するかをコントロールできます。

PART4ではリンクについて覚えていきましょう。リンクとはハイパーリンクの略語となります。ハイパーリンクとは、テキストや画像の要素に行先を指定することで、他のHTML文書へ移動できるようにする要素です。今後、HTML文書以外へのリンクも登場しますが、PART4では、基本であるHTML文書へのリンクについて説明します。

このリンクは特別なものではなく、普段、Webサイトを閲覧している際に、自然と利用している機能です。例えば、Yahoo! JAPANのトップページ(http://www.yahoo.co.jp/)を表示してみましょう。ショッピングやニュース、天気といったメニューが表示されています。この中で、ショッピングのテキストをクリックすると、トップページからショッピングのページへ移動します。これは、トップページからショッピングページへリンクが指定されているからです。



基本的なリンクの指定方法を覚えよう

例題6a: 自分で作ったページ同士をリンクさせよう

例題6b: ページ内で指定した箇所にリンクしてみよう

例題6c: 別ページの指定した箇所にリンクし、 別ウィンドウで開いてみよう

60 自分で作ったページ同士をリンクさせよう

タグ解説

<a>

特徴:アンカー要素。ハイパーリンクを定義する。

属性解説

href

特徴: a要素で多く使われる属性。リンク先のURLを指定する

サンプルソース

▶ トップページへ





文字列また は画像の書式で利用し ます。

■ reidai06_a.html の完成ソース

- ▶ <!DOCTYPE html>
- ► <html lang="ja">
- <head>
- <meta charset="UTF-8">
- ▶ <title>自分で作ったページ同士をリンクしてみよう</title>
- </head>
- <body>
- ▶ <h1>自分で作ったページ同士をリンクしてみよう</h1>
- ▶ このページから、例題5で作成したページにリンクします。
- ▶ 例題5のページはこちら
- </body>
- ▶ </html>

ソースの注釈

●「例題5のページはこちら」というテキストにa要素でリンクを設定しています。行先をhref属性と値で指定しています。

操作

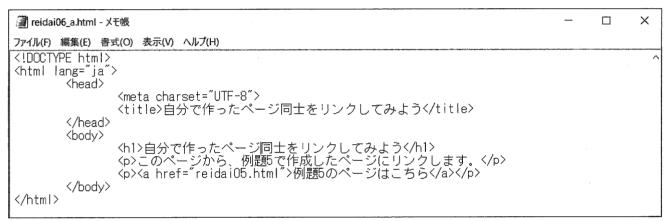
1. HTMLファイルをコピーし、ファイル名を変更する

「reidai05.html」をコピーし、ファイル名を「reidai06_a.html」に変更します。

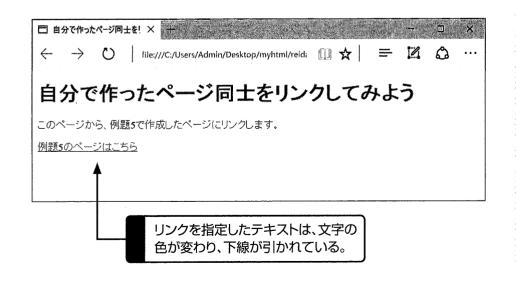
2. メモ帳でHTMLファイルを開き、ソースを変更する

「reidai06 a.htmlの完成ソース」を参考に、青字になっている箇所を書き換えてください。

実際にメモ帳で作成したソース



- 3. 変更したHTMLファイルを上書き保存する
- 4. 作成したHTMLファイルをブラウザで表示する





リンクに下線を表示させたくない場合や青色以外にしたい場合は、CSSを使用します。CSS については、PART5で覚えます。

^{例題} **6b**

ページ内の別の箇所にリンクしてみよう

属性解説

id

特徴:要素の識別子を表す。

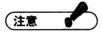
サンプルソース

- ▶ ポイントはこちら
- ▶ <h2 id="point"> 購入ポイントについて </h2>

同ページ内でリンクする場合は、リンクしたい先にid属性を追加します。リンクの記述は#+id名となります。サンプルソースでは、ポイントはこちらという文字列に#pointで、リンクを指定しています。これは、同一ページ内のid="point"で指定された箇所、つまり、購入ポイントについてヘリンクしています。



識別子とは、要素につけられた名前になります。



一つのドキュメントに対して、同じidを持つ要素が存在 してはいけません。また、id 属性にはスペースが使えません。

■ reidai06_b.html の完成ソース

- ▶ <!DOCTYPE html>
- ▶ <html lang="ja">
- <head>
- <meta charset="UTF-8">
- ▶ <title>ページ内の別の箇所にリンクしてみよう</title>
- </head>
- <body>
- ▶ <h1>ページ内の別の箇所にリンクしてみよう</h1>
- ▶ このページ内で移動しよう。
- ▶ パフェの写真はこちら
- ▶
- ▶
- ▶ このようにページ内でリンクする場合には、リンク先にidを設定しま

す。
</body>
</html>

ソースの注釈

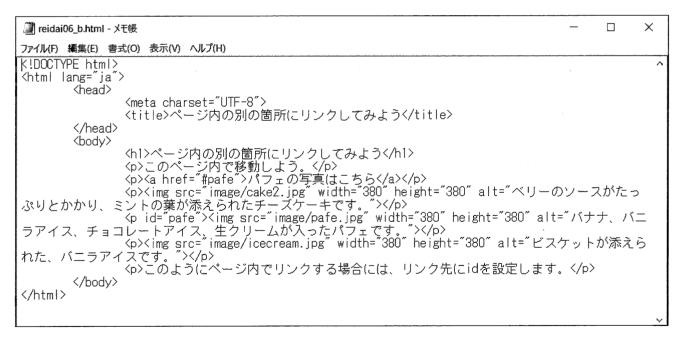
- ●img要素のalt属性には、画像の説明を記述しています。
- ●パフェの写真はこちらのテキストにリンクを張っています。
- ●リンク先にはid属性であるpafeを指定しています。

1. HTMLファイルをコピーし、ファイル名を変更する

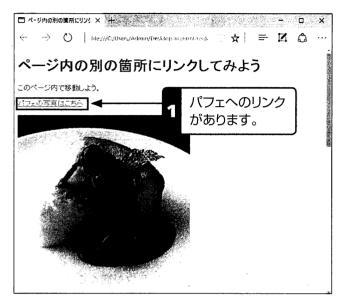
「reidai06_a.html」をコピーし、ファイル名を「reidai06_b.html」に変更します。 今回使用する画像、pafe.jpg、icecream.jpgを、[image] フォルダーの中にコピーします。

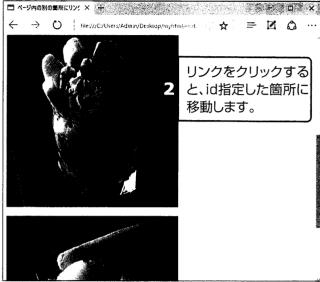
2. メモ帳でHTMLファイルを開き、ソースを変更する

「reidai06_b.htmlの完成ソース」を参考に、青字になっている箇所を書き換えてください。



- 3. 変更したHTMLファイルを上書き保存する
- 4. 作成したHTMLファイルをブラウザで表示する





違うページの指定した箇所にリンクし、別ウィンドウで開いてみよう

リンク元

サンプルソース

▶ ポイントはこちら

リンク先

サンプルソース

▶ <h2 id="point"> 購入ポイントについて </h2>

別ページの指定した箇所にリンクする際も、id属性を使用します。 リンクの記述はリンク 先のファイルパス+#+id名となります。

a要素はtarget属性を指定することで、リンク先のページを表示させるウィンドウをコントロールできます。 target属性の値は下記の属性解説でまとめています。

属性解説

target

特徴:4種類の値または任意の名称により、リンク先のウィンドウ を指定する

值一覧

self:

現在表示しているブラウザのウィンドウで、リンク先を

開きます。target属性を指定しない場合も、_selfが

適用されたと認識されます。

_parent:

現在表示しているウィンドウ内のコンテンツに親が存

在する場合、リンク先はその親ウィンドウで表示され

ます。例えばiframe要素で指定されたフレームを使用している場合、そのフレームを組み込んでいるペー

ジがリンク先となります。

top:

現在表示しているウィンドウの階層構造が深かったとし

ても、リンク先は、最上位の階層で置き換えられます。

blank:

現在のウィンドウとは別に、新しいウィンドウが開きま

す。

任意の名称:特定の値、JavaScriptなどで使用します。

サンプルソース

▶ ウィキペディアへ



iframe要素とは、HTML文書 内に、別のHTML文書を読み 込むことができる要素です。



JavaScriptとは、Web用のスクリプト言語です。 例えばショッピングサイトの商品ページで在庫をチェックするをクリックすると、現在表示しているブラウザウィンドウが開くことがあります。これはJavaScriptでサイズなどを制御しているためです。

■ reidai06_c.html の完成ソース

- ▶ <!DOCTYPE html>
- <html lang="ja">
- <head>
- <meta charset="UTF-8">
- ▶ <title>違うページの指定した箇所にリンクし、別ウィンドウで開いてみよう
- </title>
- </head>
- <body>
- ▶ <h1>違うページの指定した箇所にリンクし、別ウィンドウで開いてみよう</h1>
- ▶ このページからreidai06_bのパフェ写真の箇所にリンクします。
- ▶ パフェの写真はこちら
- ▶
- </body>
- **▶** </html>

ソースの注釈

●reidai06_b.htmlで指定したid属性のpafeには、別ページからでもリンクすることができます。

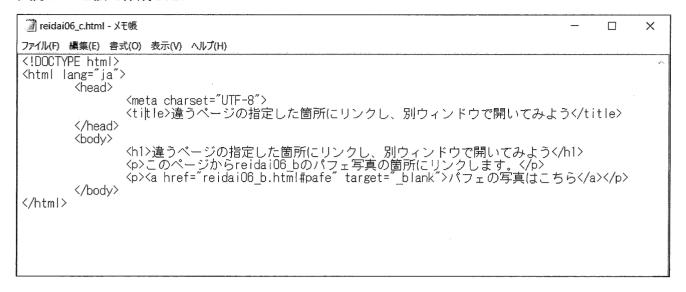
操作

1. HTMLファイルをコピーし、ファイル名を変更する

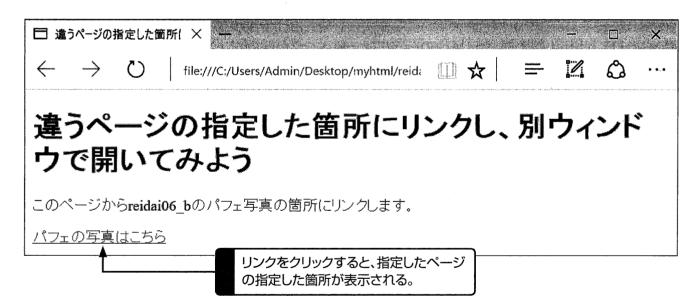
「reidai06_b.html」をコピーし、ファイル名を「reidai06_c.html」に変更します。

2. メモ帳でHTMLファイルを開き、ソースを変更する

「reidai06_c.htmlの完成ソース」を参考に、青字になっている箇所を書き換えてください。



- 3. 変更したHTMLファイルを上書き保存する
- 4. 作成したHTMLファイルをブラウザで表示する





相対パスと絶対パス

学習のポイント

- ●パスとはファイルやフォルダーの場所を指定する方法です。
- ●パスには相対パスと絶対パスがあり、それぞれ、指定の方法が異なります。

このLessonでは、リンクを設定する際に重要な、相対パスと絶対パスについて覚えます。まず、「パス」とは、ファイルやフォルダーがどこにあるかを示す文字列です。その文字列の指定方法は、相対パスと絶対パスの二種類となります。それでは、相対パスと絶対パスはどのような違いがあるか見てみましょう。

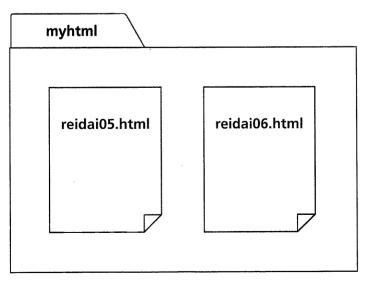
相対パス: 基準となるファイルから、表示させたいファイルの場所を指定する方法。

絶対パス: http://からはじまるURLを指定する方法。

例題6で指定したリンクを例に、説明していきます。

例題5のページはこちら

このリンクは相対パスで設定しています。このリンク設定したHTMLファイルであるreidai06.htmlとリンク先のreidai05.htmlは、[myhtml] フォルダー内にそれぞれ存在しています。下記の図を見てください。



相対パスでは、基準となるファイルから、対象ファイルへのパスを記述します。この場合、reidai05.

htmlとreidai06.htmlは、同じ[myhtml]フォルダーにあります。

そのために、相対パスでの設定では、reidai05.htmlと記述するだけでOKです。

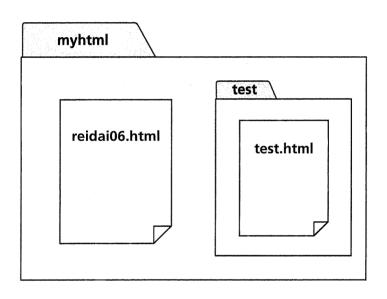
このリンクを絶対パスに変更すると、どうなるでしょうか? リンク先のhtmlファイルをhttp://www. 〇〇〇.jp/に公開する場合、記述は以下となります。

例題5のページはこちら

先ほどの相対パスの例では、同階層にあるファイルにリンクを指定しました。それでは、階層が違うファイルにはどのようにリンクを指定するのでしょうか。

基準となるファイルから階層をあがる場合、相対パスでは../と記述します。../につき1階層上にあがります。階層が上にあがるごとに../は増えていきます。また、階層が下がる場合は○○/▲▲/のように、各フォルダーの名前を記述します。

下記の図で、reidai06.htmlからtestフォルダーの中のtest.htmlにリンクを指定する場合は となります。test.htmlから、reidai06.htmlにリンクを指定する場合は となります。





相対パス、絶対パスについて理解しよう

ここでは、それぞれの例にそったHTMLファイルを作成しましょう。

例題7a: wwwに公開されているページにリンクしてみよう

例題7b: 画像にリンクを張ってみよう

^{例題} **7α**

wwwに公開されているページにリンクしてみよう

サンプルソース

▶ ウィキペディアへ

■ reidai07_a.html の完成ソース

- ▶ <!DOCTYPE html>
- ▶ <html lang="ja">
- <head>
- <meta charset="UTF-8">
- ▶ <title>wwwに公開されているページにリンクしてみよう</title>
- </head>
- <body>
- ▶ <h1>wwwに公開されているページにリンクしてみよう</h1>
- ▶ このページから、Yahoo! JAPANのWebサイトにリンクしましょう
- Yahoo! JAPANのWebサイトはこちら
- </body>
- ▶ </html>

ソースの注釈

http://からはじまる絶対パスでリンクを指定します。

操作

1. HTMLファイルをコピーし、ファイル名を変更する

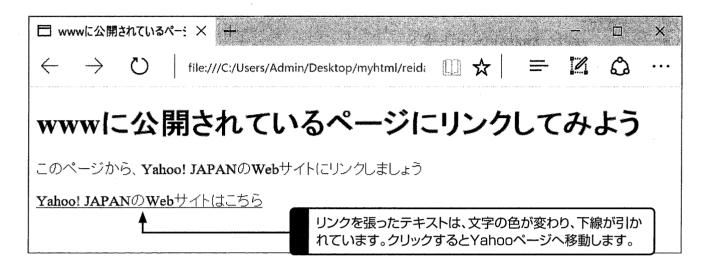
「reidai06_c.html」をコピーし、ファイル名を「reidai07_a.html」に変更します。

2. メモ帳でHTMLファイルを開き、ソースを変更する

「reidai07_a.htmlの完成ソース」を参考に、青字になっている箇所を書き換えてください。

3. 変更したHTMLファイルを上書き保存する

4. 作成したHTMLファイルをブラウザで表示する



7b 画像にリンクを張ってみよう

サンプルソース

画像にリンクを指定する場合も、方法はテキストと同様です。alt属性の記述方法は、画像の場合と異なります。

PART3の画像のレッスンでは、alt属性に、画像の説明を加えました。 しかし、このようにリンクのボタンとして使用する場合は、alt属性にどこ ヘリンクするかを記述します。

チェック

alt属性の目的は、画像が表示されない場合も、コンテンツの内容を正しく伝えることです。そのため、リンクに使用している画像の場合は、どこへのリンクなのかを記述することにより、画像が表示されない場合も、意味が正しく伝わります。

■ reidai07_b.html の完成ソース

- <!DOCTYPE html>
- ▶ <html lang="ja">
- <head>
- <meta charset="UTF-8">
- ▶ <title>画像にリンクを張ってみよう</title>
- </head>
- <body>
- ▶ <h1>画像にリンクを張ってみよう</h1>

- </body>
- ▶ </html>

ソースの注釈

●ケーキの画像にはリンクを設定しているので、alt属性にはリンク先がどこかを記述しています。

操作

1. HTMLファイルをコピーし、ファイル名を変更する

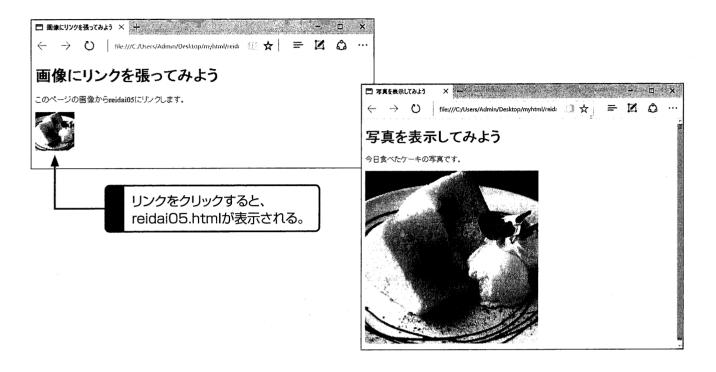
「reidai07_a.html」 をコピーし、 ファイル名を 「reidai07_b.html」 に変更します。 今回リンクを設定する画像である、cake3.jpgを [image] フォルダーにコピーします。

2. メモ帳でHTMLファイルを開き、ソースを変更する

「reidai07_b.htmlの完成ソース」を参考に、青字になっている箇所を書き換えてください。

3. 変更したHTMLファイルを上書き保存する

4. 作成したHTMLファイルをブラウザで表示する

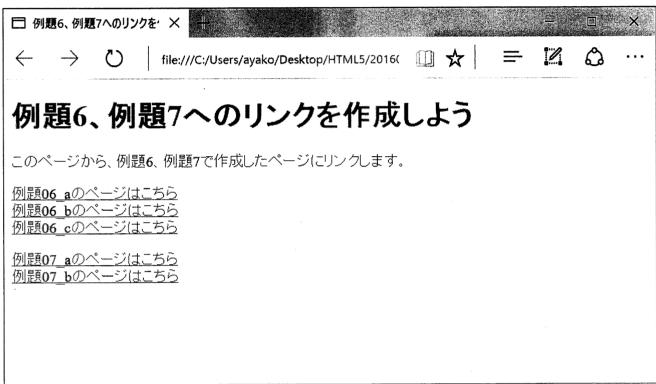


演習問題

やってみよう! 🖁

作成した HTML にリンクを張ろう

ブラウザに次のように表示されるHTMLファイルを、作成しなさい。



ファイル名 [enshu09.html]



- ●enshuO9.htmlは例題で作成したhtmlと同階層に作成してください。
- ●例題6で覚えたa要素を使用します。
- ●例題ごとに段落を作っています。

やってみよう! 10

▶ ページ内リンクを設定しよう

ブラウザに次のように表示されるHTMLファイルを、作成しなさい。





ファイル名 [enshu10.html]

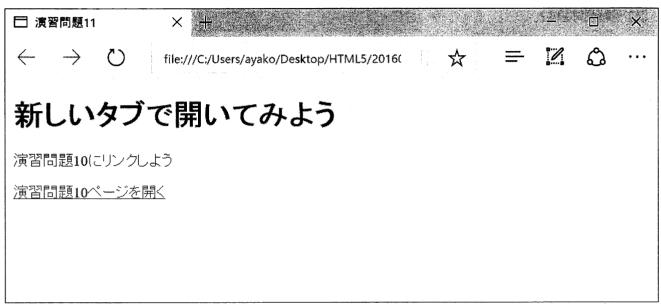


- ●例題6bで覚えたリンクの指定方法を使います。
- ●アイスの画像の下に、パフェの画像を表示させます。

やってみよう!]]

- 新しいタブで開いてみよう

ブラウザに次のように表示されるHTMLファイルを、作成しなさい。 また、リンクについては、新しいウィンドウで開くように設定しなさい。



ファイル名 [enshull.html]

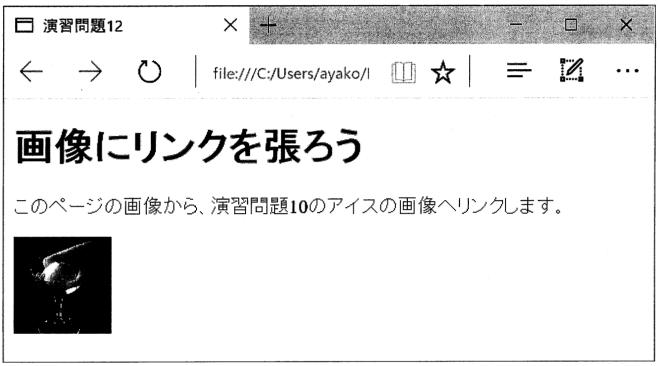


●例題6cで覚えたtarget指定を使います。

やってみよう! 12

・画像にリンクを張ろう

ブラウザに次のように表示されるHTMLファイルを、作成しなさい。 リンク先はenshu10.htmlのアイスクリームの画像にします。



ファイル名 [enshu12.html]



●reidai06_c.html、 reidai07_b.htmlを参考にしましょう。